

周防大島町の話題



▲図面に避難所のレイアウトを作成する参加者
▶作成したレイアウトの問題点など、実際に建物内を回って確認している様子



自主防災組織リーダー研修会

6月30日、山口県大島防災センターで自主防災組織リーダー研修会が開催されました。

これは自主防災組織の代表者などを対象に、地域防災力のさらなるレベルアップを目的に毎年行われており、今年は66人の参加がありました。

研修会は山口大学大学院 准教授 瀧本浩一氏を講師として、講演および災害図上訓練が行われました。災害図上訓練では、山口県大島防災センターを避難所と仮定し、レイアウトを決めるところから、避難者による避難所の自主運営について考えました。さまざまな避難者の状態に応じて、どのように受け入れ態勢を整えるかなど、避難所運営の難しさを感じつつも、とても貴重な体験となりました。

社会を明るくする運動

7月3日、「社会を明るくする運動」を広く周知するため、大島保護区保護司会と大島地区更生保護女性会が中心となり、各庁舎や柳井警察署大島幹部交番で内閣総理大臣からのメッセージを伝達しました。

社会を明るくする運動は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生への理解を深める全国的な運動で、7月は運動の強化月間となっています。



▲大島庁舎では保護司会の新山会長㊦から藤本町長にメッセージが伝達されました

大島大橋 50 周年切手シート贈呈

7月1日、大島庁舎でオリジナルフレーム切手「大島大橋開通 50 周年」の贈呈式が行われました。

このオリジナルフレーム切手は、大島大橋開通 50 周年を記念をして日本郵便株式会社が作成したもので、開通当時の模様、四季折々の大島大橋の写真が切りばめられた意匠となっています。周防大島町に縁のある人々には、周防大島町と大島大橋を思い出していただきたい。また、周防大島町を知らない人には、魅力を幅広く伝えたいという思いで作成されました。

藤本町長は「皆様のお便りに、大島大橋の姿が届くことを楽しみにしています」と思いを伝えました。



▲日本郵便株式会社 周東地区連絡会 藤本貴士統括局長㊦と藤本町長
◀オリジナルフレーム切手「大島大橋開通 50 周年」